

マーケットの動き（2020年7月6日～7月10日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

6日に中国上海総合指数や米国株先物が大幅高となったことを受け、全面高となりました。しかし、国内で東京を中心に新型コロナウイルス新規感染者数の増加傾向が続いたことや、米国南西部の州における感染再拡大への警戒感から、上値の重い値動きとなりました。

投資環境見通し（2020年7月）

国内株式相場は一進一退の動き

国内株式相場は海外市場の動向を注視しつつ、一进一退の動きを続けるとみています。

米国における新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念が強まっていることで、世界景気や企業業績に対する過度に楽観的な見方が後退する可能性はありますが、追加的な財政政策に対する期待に加えて、良好な需給環境が続くとの見方もあり、値幅を伴いながらもレンジ内での動きを予想しています。

	7月10日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,535.20	▲1.10%	▲5.51%	▲11.52%	▲2.30%
日経平均株価	22,290.81	▲0.07%	▲3.61%	▲6.54%	3.52%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202007_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなされるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

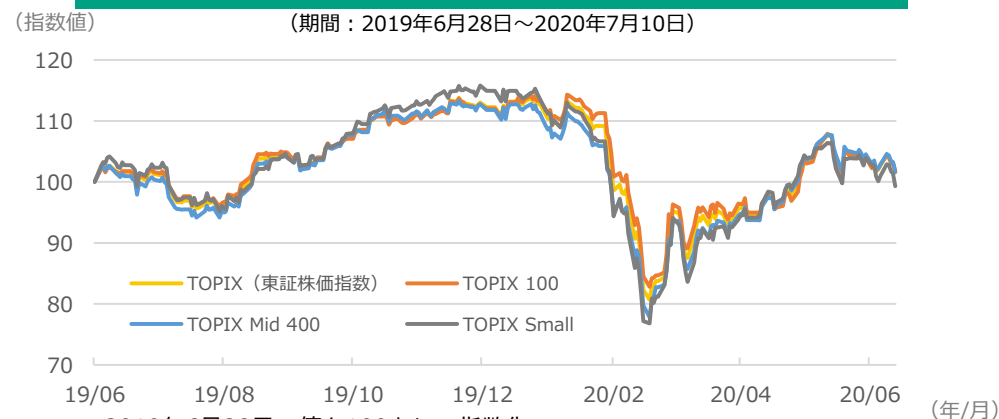
日経平均株価、TOPIXの推移

（期間：2019年6月28日～2020年7月10日）



TOPIX規模別指数の推移

（期間：2019年6月28日～2020年7月10日）



※2019年6月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成